

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 8年 6月 17日	
山口県知事 様	
提出者	
住 所 山口県山陽小野田市大字西高泊1339番地の6	
氏 名 長沢建設株式会社	
代表取締役社長 西村 創之介	
電話番号 0836-81-1100	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	

事業場の名称	長沢建設株式会社
事業場の所在地	山口県山陽小野田市大字西高泊1339番地の6
計画期間	令和 8年 4月 1日 ~ 令和 9年 3月 31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合建設業
② 事業の規模	12,944万円
③ 従業員数	16人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別表1 「産業廃棄物 一連の処理工程」のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別紙1 「管理体制図」 のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類(コン殻、アス殻)	がれき類(コン殻、アス殻以外)
	排 出 量	2,459 t	65 t
	(これまでに実施した取組) ・ 特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類(コン殻、アス殻)	がれき類(コン殻、アス殻以外)
	排 出 量	650 t	50 t
	(今後実施する予定の取組) ・ 排出量は受注結果により変動があるため、抑制は難しいが各現場において、計画以外の発生量を出さないように作業を行う。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 分別の種類：コン殻、アス殻、木くず、紙くず、廃プラスチック ・ 分別の取組：種類を明確にし、分別管理（産廃BOXの設置）		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 各現場での分別管理の実施（産廃BOXの設置）		

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別紙1 「管理体制図」のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック
	排出量	0 t	36 t
	(これまでに実施した取組) ・特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック
	排出量	0 t	30 t
	(今後実施する予定の取組) ・排出量は受注結果により変動があるため、抑制は難しいが各現場において、計画以外の発生量を出さないように作業を行う。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・分別の種類：コン殻、アス殻、木くず、紙くず、廃プラスチック ・分別の取組：種類を明確にし、分別管理（産廃BOXの設置）		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・各現場での分別管理の実施（産廃BOXの設置）		

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別紙1 「管理体制図」のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	混合安定型	石綿含有廃棄物
	排 出 量	2 t	2 t
	(これまでに実施した取組) ・特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合安定型	石綿含有廃棄物
	排 出 量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・排出量は受注結果により変動があるため、抑制は難しいが各現場において、計画以外の発生量を出さないように作業を行う。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・分別の種類：コン殻、アス殻、木くず、紙くず、廃プラスチック ・分別の取組：種類を明確にし、分別管理（産廃BOXの設置）		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・各現場での分別管理の実施（産廃BOXの設置）		

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別紙1 「管理体制図」のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	紙くず
	排 出 量	33 t	7 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	紙くず
	排 出 量	30 t	5 t
	(今後実施する予定の取組) ・排出量は受注結果により変動があるため、抑制は難しいが各現場において、計画以外の発生量を出さないように作業を行う。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・分別の種類：コン殻、アス殻、木くず、紙くず、廃プラスチック ・分別の取組：種類を明確にし、分別管理（産廃BOXの設置）		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・各現場での分別管理の実施（産廃BOXの設置）		

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別紙1 「管理体制図」のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	廃石膏ボード
	排出量	0 t	14 t
	(これまでに実施した取組) ・特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	廃石膏ボード
	排出量	0 t	10 t
	(今後実施する予定の取組) ・排出量は受注結果により変動があるため、抑制は難しいが各現場において、計画以外の発生量を出さないように作業を行う。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・分別の種類：コンクリート、アスベスト、木くず、紙くず、廃プラスチック ・分別の取組：種類を明確にし、分別管理（産廃BOXの設置）		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・各現場での分別管理の実施（産廃BOXの設置）		

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別紙1 「管理体制図」のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	混合管理型	石綿含有廃棄物
	排出量	5 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合管理型	石綿含有廃棄物
	排出量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・排出量は受注結果により変動があるため、抑制は難しいが各現場において、計画以外の発生量を出さないように作業を行う。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・分別の種類：コン殻、アス殻、木くず、紙くず、廃プラスチック ・分別の取組：種類を明確にし、分別管理（産廃BOXの設置）		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・各現場での分別管理の実施（産廃BOXの設置）		

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別紙1 「管理体制図」のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	建設汚泥
	排出量	1 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	建設汚泥
	排出量	1 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・排出量は受注結果により変動があるため、抑制は難しいが各現場において、計画以外の発生量を出さないように作業を行う。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・分別の種類：コンクリート、アスファルト、木くず、紙くず、廃プラスチック ・分別の取組：種類を明確にし、分別管理（産廃BOXの設置）		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・各現場での分別管理の実施（産廃BOXの設置）		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和 7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類(コン殻、アス殻)	がれき類(コン殻、アス殻以外)
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・ 実際例なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類(コン殻、アス殻)	がれき類(コン殻、アス殻以外)
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・ 実際例なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和 7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類(コン殻、アス殻)	がれき類(コン殻、アス殻以外)
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・ 実際例なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類(コン殻、アス殻)	がれき類(コン殻、アス殻以外)
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・ 実際例なし		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	・実施例なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	・実施例なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
・実施例なし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
・実施例なし			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	混合安定型	石綿含有廃棄物
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	・実施予定なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合安定型	石綿含有廃棄物
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	・実施予定なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	混合安定型	石綿含有廃棄物
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
・実施予定なし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合安定型	石綿含有廃棄物
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
・実施予定なし			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和 7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	紙くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） ・実施例なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	紙くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） ・実施例なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和 7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	紙くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） ・実施例なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	紙くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） ・実施例なし		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和 7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	廃石膏ボード
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） ・実施例なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	廃石膏ボード
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） ・実施例なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和 7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	廃石膏ボード
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） ・実施例なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	廃石膏ボード
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） ・実施例なし		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	混合管理型	石綿含有廃棄物
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	・実施例なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合管理型	石綿含有廃棄物
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	・実施例なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	混合管理型	石綿含有廃棄物
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
・実施例なし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合管理型	石綿含有廃棄物
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
・実施例なし			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	建設汚泥
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	・実施例なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	建設汚泥
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	・実施例なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	建設汚泥
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
・実施例なし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	建設汚泥
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
・実施例なし			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和 7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類(コン殻、アス殻)	がれき類(コン殻、アス殻以外)
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・実施例なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類(コン殻、アス殻)	がれき類(コン殻、アス殻以外)
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・実施例なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和 7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類(コン殻、アス殻)	がれき類(コン殻、アス殻以外)
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、 書面による契約を実施している。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	・実施例なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	・実施例なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	・委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施している。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	混合安定型	石綿含有廃棄物
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	・実施例なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合安定型	石綿含有廃棄物
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	・実施例なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	混合安定型	石綿含有廃棄物
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	・委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、 書面による契約を実施している。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	紙くず
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	・実施例なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	紙くず
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	・実施例なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	紙くず
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	・委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、 書面による契約を実施している。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	廃石膏ボード
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	・実施例なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	廃石膏ボード
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	・実施例なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	廃石膏ボード
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	・委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、 書面による契約を実施している。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	混合管理型	石綿含有廃棄物
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	・ 実施例なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合管理型	石綿含有廃棄物
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	・ 実施例なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	混合管理型	石綿含有廃棄物
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	・ 委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、 書面による契約を実施している。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	建設汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	・実施例なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	建設汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	・実施例なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	建設汚泥
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	・委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施している。		

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	がれき類(コン殻、アス殻)	がれき類(コン殻、アス殻以外)
		全 処 理 委 託 量	650 t	50 t
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	650 t	50 t
		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
		(今後実施する予定の取組) ・ 再利用が可能な廃棄物は、再利用できる業者に委託する。		
	※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス、陶磁器くず	廃プラスチック
	全処理委託量	0 t	30 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	30 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・ 再利用が可能な廃棄物は、再利用できる業者に委託する。		
	※事務処理欄		

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	混合安定型	石綿含有廃棄物
		全 処 理 委 託 量	0 t	0 t
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
		(今後実施する予定の取組) ・ 再利用が可能な廃棄物は、再利用できる業者に委託する。		
	※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	紙くず
	全 処 理 委 託 量	30 t	5 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	30 t	5 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	・ 再利用が可能な廃棄物は、再利用できる業者に委託する。		
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	廃石膏ボード
	全 処 理 委 託 量	0 t	10 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	10 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	・ 再利用が可能な廃棄物は、再利用できる業者に委託する。		
※事務処理欄			

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	混合管理型	石綿含有廃棄物
		全 処 理 委 託 量	0 t	0 t
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
		(今後実施する予定の取組) ・ 再利用が可能な廃棄物は、再利用できる業者に委託する。		
	※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	建設汚泥
	全 処 理 委 託 量	1 t	0 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	・ 再利用が可能な廃棄物は、再利用できる業者に委託する。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

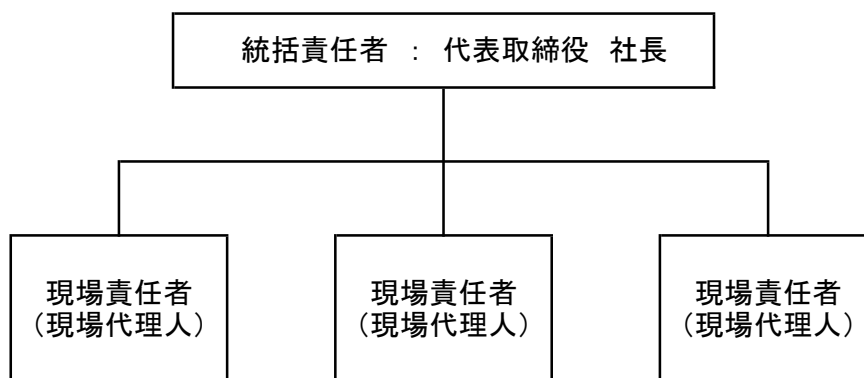
別紙1

◎ 当該事業所において現に行っている事業に関する事項

④産業廃棄物の一連の処理の工程

産業廃棄物の種類	処 理 及 び 処 分 方 法
がれき類 (コンクリート殻・アスファルト殻)	処理業者に委託して、再生砕石・再生アスファルトとして再資源化
その他がれき類	処理業者に委託して、再生砕石・再生アスファルトとして再資源化
廃プラスチック	処分業者に委託して、安定型最終処分場にて埋立処分
ガラス・陶磁器くず	処分業者に委託して、安定型最終処分場にて埋立処分
木くず	処分業者に委託して、破碎後再生資源化
紙くず	処分業者に委託して、破碎後再生資源化
汚泥	処分業者に委託して、天日乾燥後埋立処分
廃アルカリ	処分業者に委託して、汚水処理を行いセメント原料化
草、生木、伐採材	処分業者に委託して、破碎後再生資源化
木の根、表土	処分業者に委託して、安定型最終処分場にて埋立処分

◎ 管理体制図



- ・ 委託契約の締結
- ・ 現場での分別管理
- ・ マニフェストの交付・管理

多量排出事業者の産業廃棄物処理計画書(補足)(令和8年度計画)

多量排出事業者 名 称	長沢建設株式会社	所在地(市町名)	山陽小野田市	事業の種類	総合建設業
-------------	----------	----------	--------	-------	-------

(単位:トン)

区分	種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
		排出量		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		全処理委託量		優良認定処理業者への処理委託量		再生利用業者への処理委託量		認定熱回収業者への処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
		現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
産業廃棄物	燃え殻																				
	汚泥																				
	廃油																				
	廃酸																				
	廃アルカリ	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0
	廃プラスチック類	36	30	0	0	0	0	0	0	0	0	36	30	9	0	36	0	0	0	0	0
	紙くず	7	5	0	0	0	0	0	0	0	0	7	5	7	0	7	0	0	0	0	0
	木くず	33	30	0	0	0	0	0	0	0	0	33	30	11	0	33	0	0	0	0	0
	繊維くず																				
	動植物性残さ																				
	動物系固形不要物																				
	ゴムくず																				
	金属くず																				
	ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず																				
	鋳さい																				
	がれき類	2,524	700	0	0	0	0	0	0	0	0	2,524	700	257	0	2,524	0	0	0	0	0
	動物のふん尿																				
	動物の死体																				
	ばいじん																				
	13号廃棄物																				
	計 (A)	2,602	766	0	0	0	0	0	0	0	0	2,602	766	284	0	2,602	0	0	0	0	0